灘黒岩水仙郷

わたしたちのマチの景況レポート No. 16

2018年 10～12 月期実績・2019 年 1～3 月期見通し

今日も　楽しい　おつきあい

淡路信用金庫

調査概要

1．調査対象期間：2018 年 10～12 月期実績・2019 年 1～3 月期見通し

2．調査企業数：701 社（製造 160、卸売 105、小売 120、サービス 120、建設 146、不動産 50）

3．調査地区：当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）

4．分析方法：D．I．（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 －「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

【業種別、地区別　天気図】

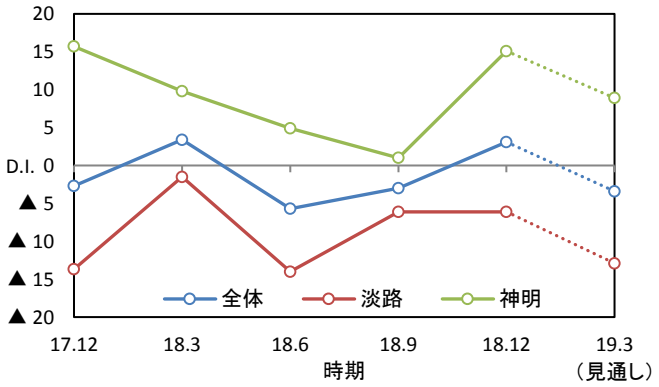
地区／業種	全事業地区（701先）			淡路地区（396先）			神明地区（305先）		
時期	2018年7～9月（前期）	2018年10～12月（今期）	2019年1～3月（見通し）	2018年7～9月（前期）	2018年10～12月（今期）	2019年1～3月（見通し）	2018年7～9月（前期）	2018年10～12月（今期）	2019年1～3月（見通し）
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

今期(2018 年 12 月期)の業況は、神明の 3 業種(製造業･建設業･不動産業)が大きく改善し、地区の景況感を押上げた。反面、淡路の 3 業種（製造業･卸売業･小売業）が悪化し、全体では前期（2018 年 9 月期）比 6.1 ﾎﾟｲﾝﾄ改善の 3.1 にとどまった。また、収益においても神明の 10.2 ﾎﾟｲﾝﾄの改善に対し、淡路では 11.4 ﾎﾟｲﾝﾄ低下した結果、全体では前期比 2 ﾎﾟｲﾝﾄの低下要因となった。来期(2019 年 3 月期)の見通しについては、アメリカ経済の不透明感および中国景気の減速懸念による不安心理を反映し、今期実績比 6.5 ﾎﾟｲﾝﾄ低下の▲3.4 となっている。

業況判断 D.I. の推移（地区別）



（D.I.）

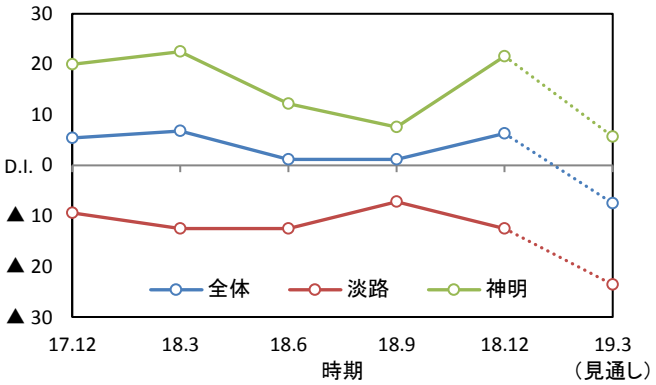
	18年9月（前期）	18年12月（今期）	19年3月（見通し）
業況	−3.0	3.1	−3.4
売上額(前期比)	5.7	4.4	−5.7
収益(前期比)	1.4	−0.6	−8.9
販売価格(前期比)	5.6	7.6	5.2
仕入価格(前期比)	31.0	31.2	24.7
人手過不足(過剰－不足)	−33.0	−33.0	−34.3
資金繰り(楽－苦)	−3.0	−0.3	−3.0
設備投資実施企業割合(%)	21.8	25.6	19.4

製造業

前期　今期　来期

今期の業況は 6.3 と前期比 5.1 ﾎﾟｲﾝﾄ改善した。2017 年 12 月期以降プラス水準を維持している。また、収益、人手不足、資金繰りで改善が見られた。一方、地区で業況は大きく異なり、淡路で前期比 5.3 ﾎﾟｲﾝﾄ低下の▲12.5、神明で同 14 ﾎﾟｲﾝﾄ改善の 21.6 となっている。来期の業況は▲7.5 でマイナス水準となる見通し。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



お客様の声

年末の受注増加に加えて設備投資による内製化が寄与し、利益率が改善された。業績も増収増益となり、資金繰りは安定している。また、業界全体において受注は今後も活発な動きをするだろうと予想している。

（淡路地区）

先代から培ってきた実績・技術力により得意先からの信頼厚く業況は順調。課題であった機械の老朽化も更新することになり、さらに精度・技術力がアップし、業績の伸長に繋がると思う。（神明地区）

（D.I.）

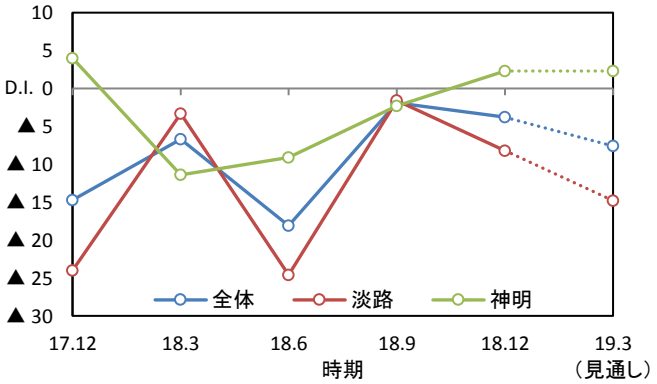
	18年9月（前期）	18年12月（今期）	19年3月（見通し）
業況	1.2	6.3	−7.5
売上額（前期比）	5.6	2.5	−12.5
収益（前期比）	−3.7	0.0	−11.3
販売価格（前期比）	4.3	8.1	6.3
仕入価格（前期比）	41.3	47.8	35.2
人手過不足（過剰－不足）	−33.5	−27.5	−27.5
資金繰り（楽－苦）	−3.7	5.0	−5.0
設備投資実施企業割合（%）	22.5	29.9	20.9

卸売業

前期　今期　来期

今期の業況は、▲3.8 と前期比 1.9 ﾎﾟｲﾝﾄ低下した。仕入価格の上昇を販売価格の上昇で吸収できておらず、売上額▲7.6、収益▲8.6 と、収益改善には至っていない。一方で、人手不足は 3.8 ﾎﾟｲﾝﾄマイナス幅を縮め▲24.8 と一服感が見られ、資金繰りは 3.8 と、余裕のある企業の方が多い結果となった。来期は今期実績比 3.8 ﾎﾟｲﾝﾄ低下し▲7.6 となる見通し。

業況判断 D.I.の推移（地区別）



お客様の声

取引先の減少により売上・利益とも減少傾向にある。収益の減少に歯止めをかけるべく、当面は経費の節減を従業員に徹底させ、利益確保に努めていきたい。

（淡路地区）

業者間での価格競争、小ロットの販売比率増加により業務効率や収益性が低下している。今後、新規販路の開拓と高付加価値の加工品の取扱いを検討している。

（神明地区）

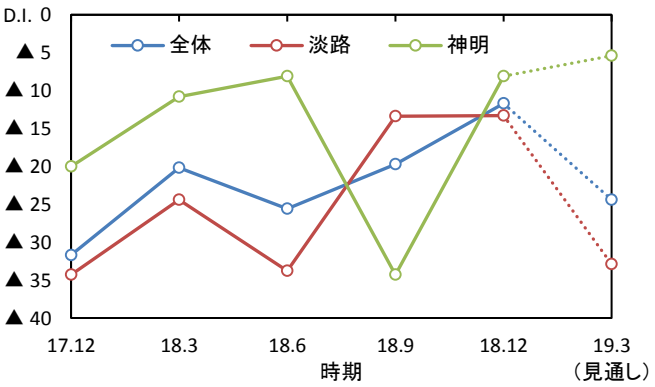
（D.I.）

	18年9月（前期）	18年12月（今期）	19年3月（見通し）
業況	−1.9	−3.8	−7.6
売上額（前期比）	14.3	−7.6	−11.4
収益（前期比）	11.4	−8.6	−11.4
販売価格（前期比）	17.3	15.2	11.4
仕入価格（前期比）	32.4	21.9	15.2
人手過不足（過剰－不足）	−28.6	−24.8	−22.9
資金繰り（楽－苦）	−1.9	3.8	1.9
設備投資実施企業割合（%）	20.2	19.4	11.7

小売業

今期の業況は、前期比 8 ﾎﾟｲﾝﾄ改善するも▲11.7 と依然厳しい状況が続いている。仕入価格の高止まりに加え、販売価格の値上げに慎重で、売上額は▲5.8、収益は▲10.0 と、いずれもマイナス水準に留まっている。資金繰りも▲8.3 と前期比 1.5 ﾎﾟｲﾝﾄ低下した。来期の業況は今期実績比 12.7 ﾎﾟｲﾝﾄ低下し▲24.4 となる見通し。

業況判断 D.I. の推移（地区別）



お客様の声

販売価格がなかなか上昇できず景況感はやや悪いと感じている。来年の消費増税を見据え電子決済等の対応を検討している。（淡路地区）

商店街の店舗廃業と顧客の高齢化が進んでおり、集客力の低下が続いている。また、近隣に大手資本スーパー、ショッピングセンターがあり、商店街離れが進んでいる。経営環境は引続き厳しい。（神明地区）

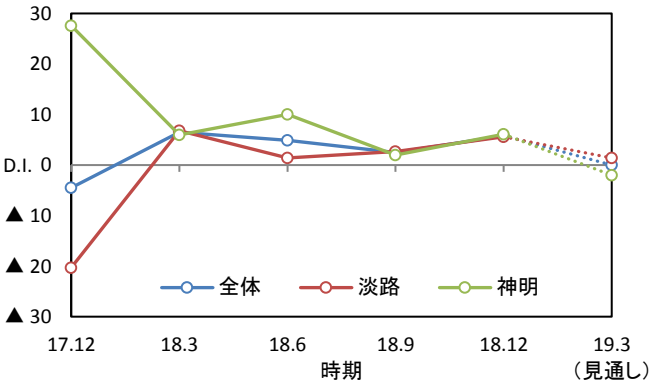
（D.I.）

	18年9月（前期）	18年12月（今期）	19年3月（見通し）
業況	-19.7	-11.7	-24.4
売上額（前期比）	-5.9	-5.8	-32.5
収益（前期比）	-7.6	-10.0	-32.5
販売価格（前期比）	8.5	10.8	1.7
仕入価格（前期比）	22.0	23.3	13.3
人手過不足（過剰－不足）	-25.4	-28.3	-26.7
資金繰り（楽－苦）	-6.8	-8.3	-10.0
設備投資実施企業割合（%）	18.6	18.3	12.0

サービス業

今期の業況は、5.8 と前期比 3.3 ﾎﾟｲﾝﾄ改善した。3 四半期連続のプラス水準で好調を維持している。また、売上額・収益とも前期比より低下するもプラス水準にある。設備投資を実施した企業割合は、5.9 ﾎﾟｲﾝﾄ増加し約 3 割と高い水準にある。来期の業況は今期実績比 5.8 ﾎﾟｲﾝﾄ低下し 0 となる見通し。

業況判断 D.I. の推移（地区別）



お客様の声

SNS を活用した宣伝効果により島内、島外のお客様がともに増加し、増収増益傾向にある。今後も幅広い客層を取込むために販路拡大に取組んでいる。（淡路地区）

台風、豪雨による自然災害でコーティングの需要が増加。売上は昨年比 15～20%増加した。2019 年は、10 月の消費税増税に伴う駆け込み需要を見込んでいる。（神明地区）

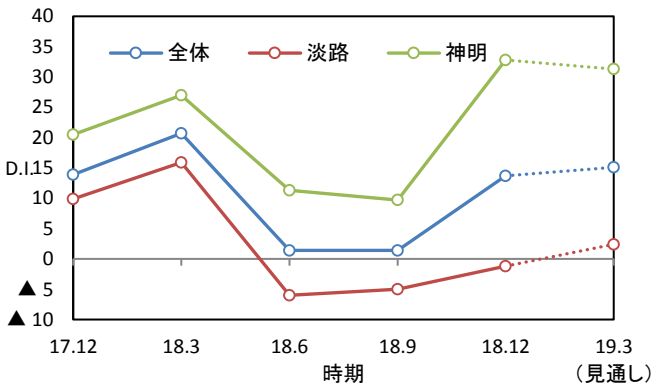
（D.I.）

	18年9月（前期）	18年12月（今期）	19年3月（見通し）
業況	2.5	5.8	0.0
売上額（前期比）	13.1	8.3	-0.8
収益（前期比）	11.5	5.8	-3.3
販売価格（前期比）	3.3	2.5	4.2
仕入価格（前期比）	21.3	26.3	23.7
人手過不足（過剰－不足）	-39.7	-39.2	-41.7
資金繰り（楽－苦）	-3.3	-7.5	-5.0
設備投資実施企業割合（%）	24.0	29.9	26.7

建設業

今期の業況は、13.7 と 10 ﾎﾟｲﾝﾄ超改善した。とりわけ神明では 20 ﾎﾟｲﾝﾄ超改善し 32.8 となった。販売価格も 6.2 と「上昇」が「下降」を上回り、売上額･収益とも大きく改善した。人手不足は▲50.7 と、他の業種に比べ厳しい水準にある。来期の業況も今期実績比 1.4 ﾎﾟｲﾝﾄ改善の 15.1 となる見通しで、淡路でもプラスを見込む。

業況判断 D.I. の推移（地区別）



お客様の声

新築受注は活発で、今後も安定した受注を確保できる見通し。一方、近年は自然災害の規模も大きくなり、災害による工期の遅れや代金回収の長期化による資金繰り悪化を懸念している。（淡路地区）

売上・利益とも増加しているものの、慢性的な人手不足から、従業員の残業時間が増加し、現場での拘束時間が長くなっている。労働条件の改善が課題である。（神明地区）

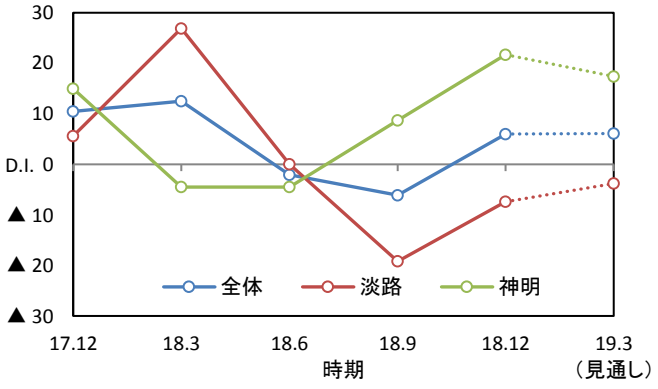
（D.I.）

	18年9月（前期）	18年12月（今期）	19年3月（見通し）
業況	1.4	13.7	15.1
売上額(前期比)	4.2	20.0	19.2
収益(前期比)	-2.1	8.3	7.6
販売価格(前期比)	-0.7	6.2	5.6
仕入価格(前期比)	37.1	38.6	35.2
人手過不足(過剰－不足)	-44.1	-50.7	-57.5
資金繰り(楽－苦)	0.7	2.7	1.4
設備投資実施企業割合(%)	23.1	27.8	23.6

不動産業

今期の業況は 6.0（前期は▲6.1）とプラスに転じた。仕入価格の上昇に一服感が見られたものの、販売価格がマイナスに転じ、収益は低下した。人手不足は▲12.2（前期は▲10.4）と幾分強まるも、他の業種に比べると穏やかである。資金繰りは「楽」が「苦」を上回り 2.0 となった。来期の業況は、ほぼ横ばいの 6.1 となる見通し。

業況判断 D.I. の推移（地区別）



お客様の声

今後も宣伝や広告を強化するとともに引合いの少ない商品土地の価格見直しを行うなど安定した業績推移に努めていく。（淡路地区）

商品土地の仕入れについて、情報網広く、良い情報が入ってきていることから、市場価格よりも低水準で仕入できている。（神明地区）

（D.I.）

	18年9月（前期）	18年12月（今期）	19年3月（見通し）
業況	-6.1	6.0	6.1
売上額(前期比)	2.0	6.0	8.0
収益(前期比)	4.1	-4.0	0.0
販売価格(前期比)	2.1	-2.0	-2.0
仕入価格(前期比)	21.7	6.3	10.4
人手過不足(過剰－不足)	-10.4	-12.2	-12.2
資金繰り(楽－苦)	-4.1	2.0	2.0

問1　2019年の日本の景気見通し

2019年の日本の景気見通しについては、「良い(A)－悪い(B)」は▲8.4と、1年前(▲3.3)と比べ5.2ポイント低下した。地区別では淡路、神明ともマイナス水準で慎重な様子。規模別では、40人以上でプラス水準(300人は0)となるも、調査先の約9割を占める40人未満ではマイナス水準と慎重な様子。業種別で見ると、建設業、不動産業でプラス水準となるも、小売業では▲34.2と厳しい様子。

(単位:%)

		良い(A)	非常に良い	良い	やや良い	普通	悪い(B)	やや悪い	悪い	非常に悪い	(A)－(B)
全体	2019年見通し	23.0	0.4	4.3	18.3	45.6	31.4	24.7	5.8	0.9	▲ 8.4
	2018年見通し	25.0	0.4	6.6	18.0	46.7	28.3	21.6	5.9	0.8	▲3.3
	2017年見通し	12.3	0.0	1.0	11.3	42.4	45.3	35.0	9.7	0.6	▲ 33.0
	2016年見通し	15.8	0.0	2.8	13.0	41.0	43.2	35.3	7.3	0.6	▲ 27.4
地区別	淡路地区	25.0	0.8	4.0	20.2	42.2	32.8	26.3	6.1	0.4	▲ 7.8
	神明地区	20.3	0.0	4.6	15.7	50.2	29.5	22.6	5.6	1.3	▲ 9.2
規模別	1 ～ 4人	17.9	0.3	3.2	14.4	49.1	33.0	25.0	6.7	1.3	▲ 15.1
	5 ～ 9人	24.6	0.0	5.3	19.3	45.6	29.8	22.2	6.4	1.2	▲5.2
	10 ～ 19人	24.8	1.0	3.0	20.8	43.5	31.7	26.7	5.0	0.0	▲ 6.9
	20 ～ 29人	18.4	0.0	5.3	13.1	36.9	44.7	36.8	7.9	0.0	▲ 26.3
	30 ～ 39人	25.9	0.0	3.7	22.2	44.5	29.6	29.6	0.0	0.0	▲ 3.7
	40 ～ 49人	36.4	0.0	18.2	18.2	45.4	18.2	18.2	0.0	0.0	18.2
	50 ～ 99人	56.5	4.3	8.7	43.5	34.9	8.6	4.3	4.3	0.0	47.9
	100～199人	33.3	0.0	8.3	25.0	41.7	25.0	25.0	0.0	0.0	8.3
	200～299人	75.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	300人～	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別	製造業	25.6	1.3	4.4	19.9	41.3	33.1	26.3	6.3	0.5	▲7.5
	卸売業	16.2	0.0	1.0	15.2	50.5	33.3	29.5	1.9	1.9	▲ 17.1
	小売業	10.8	0.0	1.7	9.1	44.2	45.0	33.3	9.2	2.5	▲ 34.2
	サービス業	26.7	0.0	4.2	22.5	44.1	29.2	21.7	7.5	0.0	▲ 2.5
	建設業	30.8	0.7	8.9	21.2	45.2	24.0	19.2	4.8	0.0	6.8
	不動産業	26.0	0.0	4.0	22.0	58.0	16.0	12.0	4.0	0.0	10.0

問2　2019年の自社の業況見通し

2019年の自社の業況見通しについて、「良い(A)－悪い(B)」は▲8.3と、過去3年と比べ最もマイナス幅が小さかった。地区別では、淡路が▲14.9と、神明の0.3に比べて慎重な様子。規模別では9人以下、100～199人でマイナス水準となるも、それ以外ではプラス水準(300人は0)となった。業種別で見ると、建設業のみプラス水準で、小売業は▲35.8と厳しい様子。

(単位:%)

		良い(A)	非常に良い	良い	やや良い	普通	悪い(B)	やや悪い	悪い	非常に悪い	(A)－(B)
全体	2019年見通し	20.8	0.6	4.7	15.5	50.1	29.1	23.7	4.4	1.0	▲ 8.3
	2018年見通し	21.3	0.6	5.3	15.4	47.2	31.5	24.7	5.7	1.1	▲ 10.2
	2017年見通し	12.5	0.0	2.3	10.2	52.5	35.0	29.6	3.9	1.5	▲ 22.5
	2016年見通し	14.8	0.3	2.8	11.7	47.8	37.4	30.2	6.0	1.2	▲ 22.6
地区別	淡路地区	18.9	0.5	3.5	14.9	47.3	33.8	28.0	5.3	0.5	▲ 14.9
	神明地区	23.3	0.7	6.2	16.4	53.7	23.0	18.0	3.3	1.7	0.3
規模別	1 ～ 4人	13.5	0.3	3.2	10.0	52.8	33.7	26.6	6.1	1.0	▲ 20.2
	5 ～ 9人	21.6	1.2	5.8	14.6	52.1	26.3	21.1	4.1	1.1	▲ 4.7
	10 ～ 19人	29.7	0.0	3.0	26.7	46.5	23.8	21.8	0.0	2.0	5.9
	20 ～ 29人	29.7	0.0	3.0	26.7	46.5	23.8	21.8	0.0	2.0	5.9
	30 ～ 39人	29.6	0.0	11.1	18.5	51.9	18.5	14.8	3.7	0.0	11.1
	40 ～ 49人	45.5	0.0	27.3	18.2	45.4	9.1	0.0	9.1	0.0	36.4
	50 ～ 99人	43.5	4.3	4.3	34.9	43.5	13.0	8.7	4.3	0.0	30.5
	100～199人	25.0	0.0	0.0	25.0	33.3	41.7	41.7	0.0	0.0	▲ 16.7
	200～299人	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	300人～	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別	製造業	25.0	0.6	8.1	16.3	46.2	28.8	21.3	5.6	1.9	▲ 3.8
	卸売業	17.1	1.0	1.9	14.2	53.4	29.5	22.9	4.8	1.8	▲ 12.4
	小売業	9.2	0.0	0.0	9.2	45.8	45.0	36.7	6.7	1.6	▲ 35.8
	サービス業	24.2	0.8	3.3	20.1	50.0	25.8	22.5	3.3	0.0	▲1.6
	建設業	26.0	0.7	8.2	17.1	54.1	19.9	17.1	2.8	0.0	6.1
	不動産業	20.0	0.0	4.0	16.0	54.0	26.0	24.0	2.0	0.0	▲ 6.0

問3　2019年の売上額伸び率

2019年の自社の売上額伸び率を「増加(A)－減少(B)」でみると、1年前(9.7)と比べ2.3ポイント低下したものの7.4とプラス水準となった。地区別では、淡路の0に比べ神明は17.0と強気の様子。規模別では、1～4人、20～29人以外でプラス水準(300人は0)となった。業種別で見ると、小売業を除く5業種でプラス水準となった。

(単位:%)

		増加(A)	30%以上	20～29%	10～19%	10%未満	変化なし	減少(B)	10%未満	10～19%	20～29%	30%以上	(A)－(B)
全体	2019年見通し	31.0	1.0	1.9	8.4	19.7	45.4	23.6	15.9	5.3	1.3	1.1	7.4
	2018年見通し	34.7	1.3	1.5	9.5	22.4	40.3	25.0	14.6	7.2	2.3	0.9	9.7
	2017年見通し	25.9	1.3	0.6	5.8	18.2	42.4	31.7	19.4	7.8	2.9	1.6	▲ 5.8
	2016年見通し	25.5	2.5	1.3	4.4	17.3	41.2	33.3	24.2	6.0	1.3	1.8	▲ 7.8
地区別	淡路地区	26.4	1.8	1.0	7.9	15.7	47.2	26.4	17.8	6.3	1.0	1.3	0.0
	神明地区	37.0	0.0	3.0	9.2	24.8	43.0	20.0	13.4	3.9	1.6	1.1	17.0
規模別	1 ～ 4人	23.7	1.3	1.6	8.0	12.8	49.7	26.6	17.6	6.4	1.0	1.6	▲ 2.9
	5 ～ 9人	32.9	0.6	2.4	9.4	20.5	45.9	21.2	14.7	3.5	1.8	1.2	11.7
	10 ～ 19人	36.6	0.0	2.0	5.9	28.7	44.6	18.8	13.9	4.0	0.9	0.0	17.8
	20 ～ 29人	28.9	0.0	2.6	5.3	21.0	29.0	42.1	26.3	13.2	2.6	0.0	▲ 13.2
	30 ～ 39人	38.5	0.0	0.0	11.5	27.0	50.0	11.5	7.7	3.8	0.0	0.0	27.0
	40 ～ 49人	81.8	18.2	0.0	9.1	54.5	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	72.7
	50 ～ 99人	56.5	0.0	0.0	17.4	39.1	21.8	21.7	13.1	4.3	0.0	4.3	34.8
	100～199人	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.6
	200～299人	75.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	300人～	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別	製造業	32.3	1.9	1.3	9.5	19.6	41.1	26.6	17.1	4.4	3.8	1.3	5.7
	卸売業	31.4	1.0	1.9	3.8	24.7	42.9	25.7	17.1	7.6	0.0	1.0	5.7
	小売業	20.0	0.0	0.0	5.8	14.2	45.0	35.0	25.0	8.4	0.8	0.8	▲ 15.0
	サービス業	33.3	0.8	1.7	11.7	19.1	49.2	17.5	13.3	2.6	0.8	0.8	15.8
	建設業	35.6	1.4	3.4	9.6	21.2	48.0	16.4	9.6	4.8	0.7	1.3	19.2
	不動産業	34.0	0.0	4.0	10.0	20.0	48.0	18.0	12.0	4.0	0.0	2.0	16.0

問４　自社の業況が上向く転換点

自社の業況が上向く転換点については、「すでに上向き」が前年比 1.3 ﾎﾟｲﾝﾄ上昇の 21.0%、「業況改善の見通しなし」が同 3.0 ﾎﾟｲﾝﾄ上昇の 33.9%で、どちらも過去 3 年の調査と比べ最も高い水準となった。地区別では神明で「すでに上向き」が「業況改善見通しなし」を上回ったが、淡路では逆の結果となった。業種別で見ると、製造業、建設業で「すでに上向き」が「業況改善見通しなし」を上回ったが、他の 4 業種では逆の結果となった。

（単位：%）

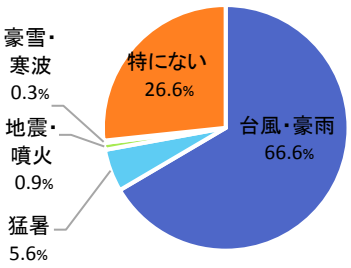
		すでに上向き	6ヵ月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善見通しなし
全体	2019年見通し	21.0	9.0	13.3	9.7	6.4	6.7	33.9
	2018年見通し	19.7	11.4	11.6	7.5	7.3	11.6	30.9
	2017年見通し	10.3	10.9	13.6	8.6	14.6	10.6	31.4
	2016年見通し	13.6	9.8	16.7	8.2	11.4	9.1	31.2
地区別	淡路地区	12.7	9.1	12.4	11.2	6.9	7.9	39.8
	神明地区	31.8	8.9	14.4	7.9	5.9	5.2	25.9
規模別	1 ～ 4人	15.1	8.0	9.6	8.4	5.5	8.7	44.7
	5 ～ 9人	19.9	9.9	16.4	9.9	7.0	5.3	31.6
	10 ～ 19人	31.0	4.0	17.0	13.0	5.0	10.0	20.0
	20 ～ 29人	15.8	10.5	21.1	15.8	10.5	0.0	26.3
	30 ～ 39人	48.1	11.1	11.1	11.1	7.4	0.0	11.2
	40 ～ 49人	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	36.3
	50 ～ 99人	34.8	26.1	13.0	4.3	13.0	0.0	8.8
	100～199人	8.3	25.0	16.7	8.3	0.0	8.3	33.4
	200～299人	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	300人～	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
業種別	製造業	29.4	9.4	13.1	10.6	4.4	7.5	25.6
	卸売業	15.2	8.6	14.3	12.4	8.6	9.5	31.4
	小売業	12.5	8.3	9.2	10.0	5.0	6.7	48.3
	サービス業	16.0	8.4	17.6	9.2	6.7	4.2	37.9
	建設業	27.6	11.0	13.1	7.6	8.3	5.5	26.9
	不動産業	20.0	6.0	12.0	8.0	6.0	8.0	40.0

問５　自然災害等の影響

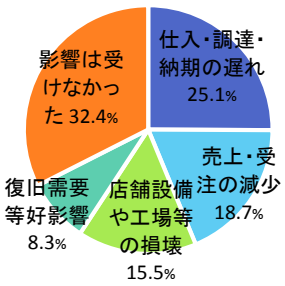
2018 年の経営に最も影響を与えた自然災害・異常気象は、「台風・豪雨」が 6 割超を占め、以下、「猛暑（5.6%）」と続いた。

また、経営への影響については、「仕入･調達･納期の遅れ」が 25.1%、「売上･受注の減少」が 18.7%、「店舗設備や工場等の損壊」が 15.5%となった。また、「影響は受けなかった」は 32.4%で、「復旧需要等好影響」は 8.3%にとどまった。

（最も影響を受けた自然災害等）



（経営に受けた影響）



かわらばん

✍ Origami Pay でキャッシュレス決済はじめませんか!?

わが国では、2020 年の東京オリンピックに向けてキャッシュレス決済の比率を伸ばそうと、国策として取組んでいるところであります。そういった時代の流れを受けて、当金庫では『Origami Pay』という QR コード決済サービスを推進しております。

Origami Pay の加盟店になるメリットとしては

・決済手段の多様化による顧客ニーズの取り込み
・Origami 社負担による割引及び定期的なクーポンの配付による集客効果、客単価の向上
・Origami アプリの地図上に店舗情報が表示されるようになり、集客効果が見込まれる
・アプリの付加機能利用による、売上の管理・分析を行うことができる

などがあります。

お店側の準備としましては、スマホかタブレットにアプリを導入していただくだけです！
初期費用、月額費用、固定費もかかりません！ご興味のある方は、お気軽に営業店にお声かけください。

✍ 平成 30 年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業」について

中小企業庁より、平成 30 年度補正予算「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業」の事前予告が公表されております（※補助金の公募開始のお知らせではありません）。

補正予算成立後速やかに実施する予定とのことで、近く公募が予想されます。応募を予定されている方は、お早めにご準備ください。なお、ご質問等ございましたら営業店までご相談ください。

✍ 今年も「かいぼり」参加で、地域の課題解決をお手伝い！

当金庫では、2017 年 1 月より地域課題の一つである『かいぼり』に参加しており、今年で 3 年目を迎えます。本年度は、3 回の参加を予定しており、昨年の 12 月 15 日（土）には、南あわじ市湊里の谷田池の『かいぼり』に 5 名が参加しました。地元の水利組合や漁協に加え、大学や企業も含めて総勢 90 名での作業となりました。

※かいぼりとは、ため池の水を抜いて池底の腐葉土に放水し川へ流す作業。
ため池の維持管理に加え、海の栄養価を高める効果があります。

【問合せ先】
淡路信用金庫　業務部
（担当）柏木、眞野
TEL：0799-22-1020 FAX：0799-24-3177